

仕事と介護・仕事と育児 両立支援への取り組み



ライオンが目指す職場環境

当社は、持続可能な経営の実現のために、一人ひとりの従業員が安心して働き、活躍できる会社を目指しています。

その中でも特に従業員の多様性(ダイバーシティ)および仕事と家庭の両立支援(ワーク・ライフ・バランス)を重視して取り組んでおり、今回は仕事と介護・仕事と育児の両立支援への取り組みについて紹介します。

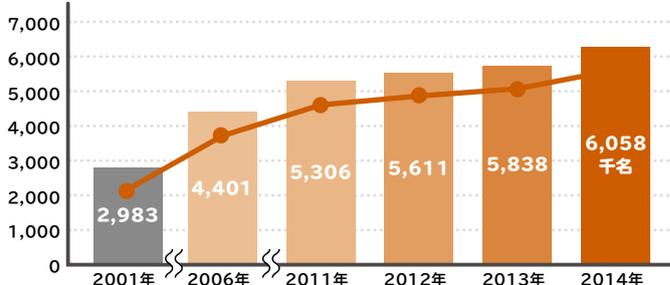
仕事と介護の両立支援について

大介護時代へ突入

日本の高齢化は著しいスピードで進んでおり、要介護者の人数も年々拡大しています。【図1】2025年には約3名に1名が高齢者(65歳以上)*となり、大介護時代へ突入するといわれています。当社においても、主に50歳前後の従業員が、今後介護に従事する可能性が高く、仕事と介護の両立を支援する制度推進および職場環境づくりは、企業の義務であると考えています。

*出典:総務省統計局(統計トピックスNo.72)

《【図1】日本国内の要介護者数の推移》

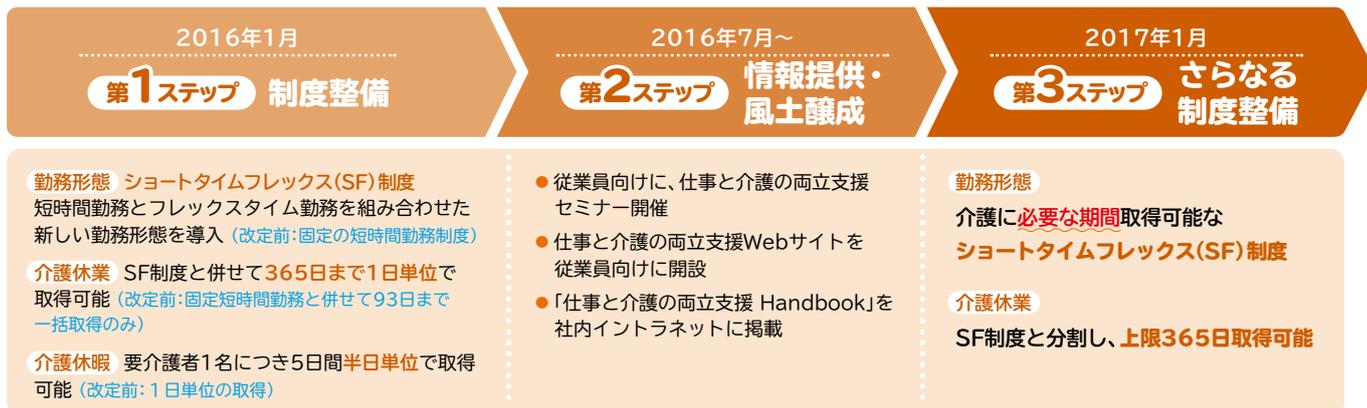


出典:厚生労働省 平成26年度 介護保険事業状況報告(年報)

仕事と介護 両立支援施策

当社は、法律に基づき、仕事と介護の両立支援制度を以前から推進してきました。大介護時代突入に向けて、従業員一人ひとりが安心して働くことができ、業務推進に貢献することができる

職場環境を目指し、2016年より本格的な制度の拡充に着手しました。下記の3ステップで新しい介護制度に向けて推進しました。



制度を導入した2016年1月の第1ステップでは、今までの「短時間勤務制度」を「ショートタイムフレックス制度」に改定しました。「短時間勤務制度」では、一度決めると勤務時間が固定されていましたが、新しく導入した「ショートタイムフレックス制度」では、短時間勤務とフレックスタイム制度を組み合わせ、勤務時間を調整できるようになり、従業員がよりフレキシブルに働けるようになりました。

第3ステップ(2017年)でさらに制度整備を推進し、今までは介護休業と併せて上限365日であった、「ショートタイムフレックス制度」の取得上限日数を、上限を設けず従業員が「介護に必要な期間取得可能なショートタイムフレックス制度」に拡充しました。

今後も、従業員が仕事と介護を両立しながら、安心して働けるように介護支援制度を拡充していきます。

仕事と育児の両立支援について

出産後の勤務の継続

現在、日本政府により男女共同参画社会の実現に向けて、女性活躍推進に向けたさまざまな法律や施策が推進されています。しかし、出産を機に退職をする女性は、全体の33.9%にもものぼる、という調査もあり、仕事と育児の両立は依然社会課題となっています。【図2】

当社は、企業の持続的な成長のためには、女性従業員の活躍が不可欠であると考えており、出産・育児を経験した後も、長期的に活躍できるよう、さまざまな仕事と育児の両立支援策を推進しています。

今回は、当社が新しく取り組んでいる、仕事と育児の両立支援施策を紹介いたします。

仕事と育児 両立支援施策

▶ 復職前セミナー

育児休業中の従業員を対象に、職場復帰に対する不安を軽減し、前向きな気持ちで復職できるよう、年に2回「復職前セミナー」を開催しています。このセミナーでは、会社の近況についての説明、職場復帰をしている先輩社員との座談会、仕事と育児の両立について考えるグループワークなどを実施し、従業員が自信を持って職場復帰できるよう取り組んでいます。

▶ 「復職と育児の支援Webサイト」設立

2016年に、育児休業中の従業員のための「復職と育児の支援Webサイト」を立ち上げました。各自に合った育児の情報や、会社についての情報を発信しています。

利用者は「復職と育児の支援Webサイト」を通じて、

- ◎ 育児で不安や悩みが生じた際、個別に専門家に電話/メール相談
- ◎ 育児に関する疑問に対して充実したQ&A集で解決
- ◎ 会社から、会社の近況、復職に関する情報などを受信

など、育児や復職に役立つ機能を利用することができます。その他、休業中でもスキルの習得ができるよう、パワーポイントやExcelなど多岐にわたる自己啓発講座の履修や、WebサイトのSNS機能を通じた育児休業者同士の情報交換の場としても役立っています。

さまざまな仕事と育児の両立支援施策を推進して、働きやすさの充実や制度を拡充してきた結果、当社では100%の従業員が、出産後職場復帰をしています。今後も、活躍を促進する施策を拡充します。

育児休業取得者 従業員の声

営業開発部 富田 愛理

私は2016年4月より1年間、産後・育児休業を取得していました。毎日通っていた会社をこんなに長い間離れるのは初めてで、子どもが生まれるワクワク感と、この場所に戻ることができるのだろうかという不安が混じっていました。

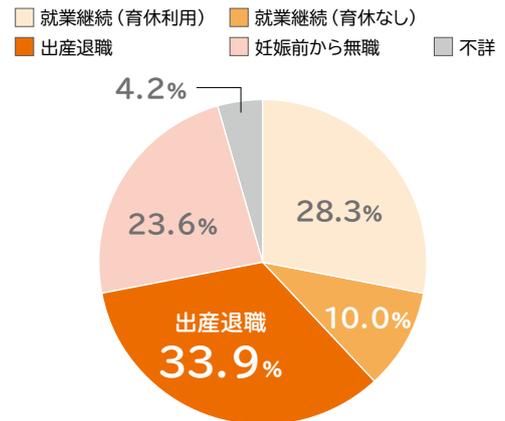
「復職と育児の支援Webサイト」にはとても助けられました。他の休業中の同僚、すでに復職をされている先輩ママと情報交換ができ、育児の悩みも共有できました。いざとなれば、24時間専門家に相談できる機能も大変心強かったです。また人事部より定期的に発信される会社の近況も、届くと嬉しい気分になり、久々に頭を仕事モードに切り替え集中して読んでいた自分がありました。

復職前セミナーには、子どもを連れて参加しました。多くの先輩ママが、小さな工夫を重ねながら活躍されている話を聞き、私もこの会社に戻って仕事も育児も両方やりたいという気持ちになりました。

復職後は忙しくなりますが、仕事も育児もこれまで以上に楽しめるよう、自分なりの小さな工夫をたくさん見つけていきたいと思えます。



《【図2】日本の出産退職率(2015年)》



出典：国立社会保障・人口問題研究所
第15回 出生動向基本調査

*データは第1子出生年が2010～2014年の妻の就業変化



復職前セミナーの様子



「復職と育児の支援Webサイト」の
育児Q&Aのページ

[ワーク・ライフ・バランスの推進]

URL http://www.lion.co.jp/ja/csr/employee/work_life/